

令和
3年度

流行前の予防が大切!!

インフルエンザ予防接種

費用助成のお知らせ

昨年度と対象者が
変更になっています。
ご注意ください。

〔接種期間〕 令和3年 10月1日(金)~令和4年 1月31日(月)

対象者	接種医療機関	費用	申請等
接種日において 65歳以上の方 (定期予防接種対象者)	岡山県内	無料	特に無し
	岡山県外	医療機関窓口で 全額支払い後、 4,200円まで返金	接種前：保健福祉課にて県外接種希望の申請が必要。(詳しくは保健福祉課にお問い合わせください) 接種後：保健福祉課にて費用助成申請が必要。(※)
60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身の周りの日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方、及び、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方は、主治医の判断で対象になります。(主治医にご相談ください)			
接種日において 生後6か月～ 中学生 に相当する年齢の方	鏡野町内	無料	特に無し
	津山市内	4,200円まで無料。 (超過分は医療機関 窓口で自己負担)	特に無し
	鏡野町・ 津山市外	医療機関窓口で 全額支払い後、 4,200円まで返金	接種後：保健福祉課にて費用助成申請が必要(※)
13歳未満の方は、2回接種となります。おおむね4週間の間隔をあけて接種してください。 生活保護の方は、事前に保健福祉課へご相談ください。			
◇上記対象者以外の方も、全額自己負担で接種することができます。費用については、接種する医療機関にお問い合わせください。			

◆予防接種の開始時期や予約については、事前に接種する医療機関に確認してください。

◆予防接種は医療機関にあります。

(※)接種後の助成手続きについて

医療機関窓口で接種費用を全額お支払い後、下記①～③を役場保健福祉課もしくは各振興センターへご持参ください。

①領収書 ②予防接種済証明書 または、母子健康手帳 ③振込口座がわかるもの

接種1回につき、4,200円を上限に指定口座に振込みます。

申請締め切り：令和4年3月8日(火)

子宮頸がんの予防と早期発見について

日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、毎年、約2,800人の女性が亡くなっています。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人も、毎年、約1,200人います。

予 防

日本では現在、小学校6年生～高校1年生相当の女の子を対象に、子宮頸がんの原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を防ぐワクチンの接種を実施しています。ワクチン接種については、かかりつけ医または接種医にご相談ください。

早期発見

20歳になったら、子宮頸がんを早期発見するため、子宮頸がん検診を受けることが重要です。検診では、前がん病変（異形成）や、子宮頸がんが無いかを検査します。

ワクチンを接種していても、していなくても、20歳になったら年に一度の子宮頸がん検診を受けましょう。

お問い合わせ先 鏡野町保健福祉課 保健指導推進センター 担当：保健師 電話(0868)54-2025 FAX(0868)54-2891